



道守かごしま通信



平成24年3月 第7号

3月11日(日)に「道守かごしま会議」では、国道3号、国道10号、国道225号の終点である照国神社前交差点に桜を植えました。桜は道守会員である地元の「照国神社表参道通り会」からの寄贈によるものです。

当日はお天気にも恵まれ、天文館近辺の道守さんを中心に90名が参加して、代表者による桜植樹の後、全員で225号歩道緑地帯の芝生の張り替えとツツジの植樹も行いました。

鹿児島市の繁華街・天文館から西郷銅像や鶴丸城跡へと続く「照国神社表参道通り」は、新幹線全線開通以来、特に観光客も多く歩くようになり、記念写真を撮る人で緑地帯の芝生もだいぶ傷んでいました。そこで今回観光シーズンを前に、道守会員に参加を呼びかけ、痛んだ芝を踏まれても強い新しい芝生に張り替えました。

芝生を植えるという普段はなかなかやったことのない作業に、時間がかかってしまうのではないかと当初は心配されましたが、いったんコツをむと動きは素速く、予定よりも30分も早く作業を終えることができました。



桜の植樹



芝の張り方を習います



芝張り開始



一枚ずつ丁寧に張ります



作業後清掃



照国神社をバックに記念撮影(お疲れさまでした)



通り会から食事の差し入れもありました